

令和4年度「市長と語り合う会」について（小野地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和4年 8月8日（月）	小野公民館	19:00～20:00	10	1	11

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

1. 令和4年度施政方針「危機を機会に転じる積極思考」

・脱炭素社会の実現に向けた取組

地球温暖化や気象変動が進みつつある中、国際的に二酸化炭素等の温室効果ガスの削減を進めていくこととなっている。市としても、例えば公用車の一部を電気自動車に切り替えるというような脱炭素に向けた取組みを進めていきたい。これまでも、照明のLED化や公共施設の屋根に太陽光発電を設置することも行ってきたが、今後とも進めていきたい。

・行政サービスの効率化・最適化を図る「デジタル・トランスフォーメーション」

コロナ禍において、人が集まることなく仕事や会議を行っている状況の中、行政においても、これまでアナログで行ってきたことをデジタル化して、行政サービスを効率化、最適化し行政コストを下げていくといったいわゆるデジタル・トランスフォーメーションを行うことは、危機を機会に転じる一つのきっかけになると考える。

また、このデジタル・トランスフォーメーションを進めていくうえで必要不可欠なことは、マイナンバーカードの取得率の向上であり、現在、政府もマイナンバーカードの取得率の向上に向けマイナポイントの実施等の取組みがなされている。例えば一昨年行った10万円の給付金でも、マイナンバーカードを普及し口座と連携させるとあっという間に振り込みまでの手続きが可能となるので、そういった利便性を高めるためにもマイナンバーカードを普及させていきたい。

・益田市型中高一貫教育の実現に向けた取組

市内の子ども達が、将来地元に戻って活躍してもらえるようふるさと教育に取り組んでいるところであるが、進学しその卒業後に地元で活躍してもらえるような循環を作るためにも、中学校や高校で一定の学力が身につけられる環境も必要だと考える。特に島根県では、ものづくり産業が盛んで理科系の教育に力を入れられており、市としても理科系教育の環境づくりを行っていきたい。

・交通インフラ及び都市基盤整備

これまで立ち遅れていた道路網、空港の路線を充実させたいと考えている。道路交通については、益田萩間の益田西道路、益田田万川道路が事業採択され、一部の地域で住民説明会が開催された。市内の交通事情の改善や空港の利用拡大、産業振興の観点からも、早期の整備を働きかけていきたい。

萩石見空港についても、東京便が2往復運航に戻り、8月5日から大阪便の特設運行も始まっている。何とか空の玄関口である空港の利用拡大を進めていきたい。

また、JR山陰本線の収支状況が非常に厳しい状況であることが報道発表された。これまで鉄

道といえば、あって当たり前というような感覚だったが、道路や空港と同じく維持していかないといけないので、今後重要なインフラとして意識していくよう考えている。

都市基盤整備としては、山陰道の南部地区について、道路整備と合わせこの地域の災害の安全性の向上も含めた形で進めていきたい。

・ワクチン接種

ワクチン接種については、1、2回目接種で約80%、3回目接種では約75%の方が終えている。また、60歳以上の方が重症化しやすいし基礎疾患のある方については、4回目の接種を受けることになる。ワクチン接種は、完全な予防効果があるわけではないが、万が一感染した場合の重症化を防ぐ効果があるとされているので、ワクチン接種を呼びかけていきたい。

2. 市制施行70周年

昭和27年に、それまでの町、村が合併して初めて益田市となってから今年がちょうど70周年の大きな節目の年になる。これまで市の発展に貢献していただいた方々への感謝の気持ちを表すことと、これからも益田市が発展していけるように市民の心を一つにして機運を高めていくために、盛大にお祝いしたいと考えている。11月3日に70周年記念式典、併せて記念講演を美都ふれあいホールで開催するのでぜひ申込みいただきたい。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 中学校の統廃合について
- ② 定住対策について
- ③ 市道の通行止めについて
- ④ 新型コロナウイルス感染症について
- ⑤ 観光地のトイレ設置について
- ⑥ 空き家対策について
- ⑦ 国営開パイについて

○ 閉 会 （秘書課長）

令和4年度「市長と語り合う会」

〔会場 小野公民館 開催日時：令和4年8月8日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 中学校の統廃合について 中学校の統合、再編について論議されているが、子育て環境が整っていることは重要で地域から学校が無くなるのは大きな問題でありぜひ残してほしい。また、中学校単独が困難な場合は、小学校との統合も視野に入れる等、保護者、地域の意見を踏まえ検討してほしい。</p>	<p>① 小中学校の学校再編の考え方については、小学校では、地元地域の身近なところで学んでいただく、中学校では、より社会性を身につけてもらうため一定程度の規模のところで学んでもらう、そのため小規模のところは統廃合し、より大きな規模の環境で学んでもらう方針にしている。地元には学校があり通えるのも1つの魅力であるが、大規模で教育に接する機会が保証されるのも大きな魅力である。部活動等においても規模が小さいと選択肢が狭まることもある。中学校がなくなっても中学生は地域に残る。子ども、保護者、地域の方の十分な理解をいただき進めていきたいと考えている。</p>
<p>② 定住対策について 住みたい田舎ベストランキングというのがあるが、益田市は何位なのか。また住みたいと思う重要な要素である定住支援、医療、子育て支援、就労支援等について、市で主として取り組まれていることや課題についてお聞きしたい。</p>	<p>② 住みたい街ランキングについては、過去1位になったこともあるので、現在も低いランクではないと思う。主要な施策に関して、子育て支援については、保育所または、放課後児童クラブへの支援、医療については、小学校就業までの医療費の無料化、勤務医師確保のため大学への依頼や地元学生の推薦等行っている。就労支援については、就業支援金の支給、また企業誘致に力を入れ若い世代の定住人口の拡大を図っている。</p>
<p>③ 市道の通行止めについて 飯浦町内の市道において、落石のおそれがあるため通行止めとなって期間が経つが、工事に入る様子がない。生活道でもあるため早期に工事を行ってほしい。</p>	<p>③ 市道の通行止めについては、大変危険な状況のため、その原因となるものを除去しないとイケない。現在、詳細な調査、測量業務を発注しており、12月に完了する予定で、その結果を受け地元へ説明することとしている。地元の方のご意見は十分認識しているが、ご協力をお願いしたい。</p>
<p>④ 新型コロナウイルス感染症について コロナ感染者の情報提供のあり方について、市の情報は、感染者数を公表するだけで、具体的なデータは公表されていない。どこでクラスターが発生した等、市民が知りたい情報を公表することで、市民自らが注意しながら生活する事ができるのではないかと。</p>	<p>④ 情報提供することにより、市民の不安を和らげる、または行動に注意していただくことは大事であると考えているが、感染状況については、県の保健所で把握され、市として独自の情報は持っていない。市独自の情報として、小中学校の感染状況については、教育委員会より知ることができるが、プライバシーの配慮が必要であり、県と同様に個人の特定につながるような情報は公表しないこととしている。</p>
<p>⑤ 観光地のトイレ設置について 衣毘須神社駐車場のトイレの設置について再度要望したい。</p>	<p>⑤ トイレの設置については、以前要望をいただき検討したが、建設コストや維持管理を考えると困難な状況であった。近隣の戸田小浜駅のトイレも考慮し再度検討したい。</p>

⑥ 空き家対策について

瓦が落ちてきたりするような危険で所有者のわからない空き家があるが、市で何か対応できないか。

⑦ 国営開パイについて

降雨の際、喜阿弥川の上流から黒く濁った水が流れてくるが、農業用水として使用しており体への影響も心配である。開パイの飼料や鶏糞等が流れ出ていると思われるが、沈殿槽を作る等、何か対策できないか。また、鶏糞等の臭いについても長年悩まされている。少しでも解消できるよう協力してほしい。

⑥ 基本的に所有者が責任をもって管理していただくのが前提であるが、管理されていない危険な住宅は、最終的に強制撤去し費用を負担していただくことになる。ただ、費用の徴収ができない場合も想定されるので進めにくい実情があるが、適切な管理をしてもらうよう図っていく。

⑦ 農業は重要な産業ではあるが、水質汚染等、近隣住民へ迷惑をかけるようではいけないので、農業事業者へ説明し改善の指導を行いたい。